

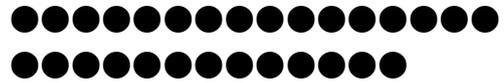
陳情文書表 (令和5年2月28日定例会提出)

陳情第36号

安倍元総理の銃撃現場保存に関する陳情書

令和5年2月15日受理

陳情者



長尾泰宏

(要旨)

現在進行中の西大寺一条線工事を一旦中断し、有識者会議で検討された安倍元総理銃撃現場が保護される廃案となった検討案1再検討のための住民投票、または奈良市議会で決議をお願いしたい。

(理由)

現状の工事計画では、令和5年3月までに事件現場のアスファルトが剥がされて片側一車線の道になります。痛ましい銃撃事件で殺害された安倍元総理の慰霊のため、有識者会議で提案のあった廃案1のほうが、以下の点で現行案より多くの国民の希望をかなえることもでき、ふさわしいものと思われま。

- ・廃案1の場合、銃撃現場自体は中州に保存され、現場保存と慰霊が同時になう。
- ・山上容疑者の裁判の結審まであらゆる証拠を残す意味でも、銃撃現場はできるだけ現状のまま保存すべき。
- ・安倍総理の慰霊のため献花に訪れる方々は、できるだけ現場に近い場所で祈りをささげるため、現場が再舗装され長い横断歩道になった後でも、道路の中央に立ち止まり祈りや献花をする危険性が残る。
- ・廃案1の中州を採用するプランでは横断が2つの横断歩道に分けられ、より安全な横断が可能になる。
- ・本件は署名サイトChange.orgにて2023年2月11日現在3万3000名以上の賛同を得ており、現在も署名が増え続けております。

以上の点から工事を一旦中断していただき、既に検討済みの廃案1の再検討を行っていただきたく、上記陳情いたします。